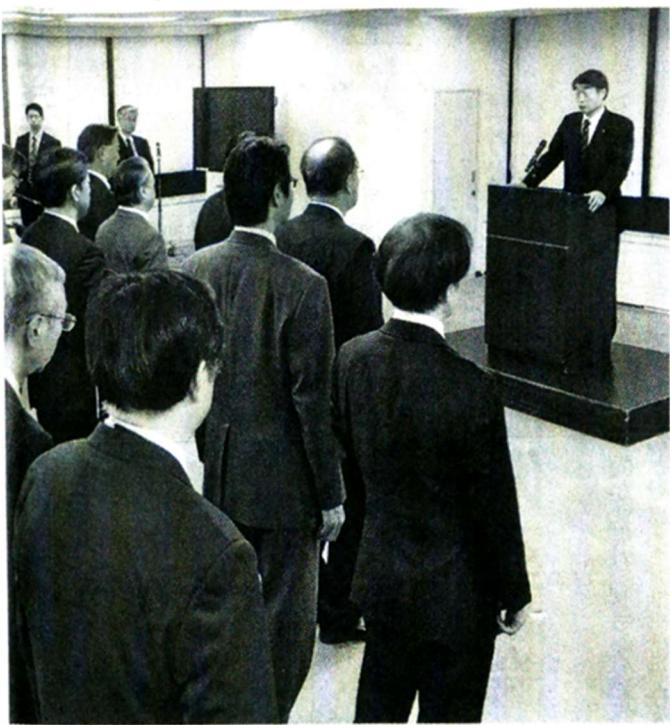


「統計不正問題」特別監察委報告受け

厚労大臣が謝罪

幹部職員22人を処分



部に訓示する根本大臣（右端）

厚生労働省による毎月勤労統計調査の不正問題に関する特別監察委員会は22日、「組織としてのガバナンスが欠如している」とする調査結果を公表した。

勤労統計調査は、厚労省が毎月の雇用や給与、労働時間などの変動を把握する調査。失業手当の支給額に影響するほか、国内総生産（GDP）の算出にも

用いられる。8日の会見で根本大臣は、本来すべてが調査対象の従業員500人以上の事業所について、2004年から東京都分だけは3分の

用いられる。

大臣は、本来すべてが

委を立ち上げた。

22日の監査委の調査

報告書は、「課長級を

違法でない」とした。

その上で、「統計法

1ほど抽出する方法で

しか調査していないかっ

たと発表。17日に監査

委を立ち上げた。

これを受け、厚労省

は政務三役や幹部職員

は22人の処分を発表し

た。

根本大臣は局長級以

上の幹部職員を省内の

一室に集め、「監査委か

ら『言語道断だ』と指

たのは言語道断。行政

機関としての信頼が失

われた」と総括した。

官など現職4人のほか、元職員16人も減給

とした。

根本大臣は局長級以

たのは言語道断。行政

機関としての信頼が失

われた」と総括した。

これを受け、厚労省

は政務三役や幹部職員

は22人の処分を発表し

政策統括官や統計管理

（鮫島隆紘）